



新年度の挨拶

副院長 出塚 次郎

日頃より当院の運営に関してご協力いただき、今年度も皆様に改めて深く感謝申し上げます。今年も漸く春らしい気候となり、当院の桜もいよいよ咲きだしたと思っていましたら、例年より暖かい日々が続いてしまったおかげで瞬く間に散ってしまい、少々残念に思っている今日この頃です。

この病院も今年の3月1日で25年目となり、4月1日からは25回目の新年度となりました。

開院当初から働いていた職員も今や数えるほどになってしまいましたが、一昨年からは、この病院開設時の準備スタッフとして働いていた職員を今一度事務長として迎えて懐かしくもまた頼もしく、御縁というものは時を経て繋がっていくものだ改めて感じております。

さて当院は、これまでも学生教育の一環で看護学生・リハビリ学生の実習を受け入れて医療者の育成に関わってきましたが、昨年度は片貝医院の根本 忠先生からご紹介をいただき、新潟大学医学部学生の地域医療講座の実習先として、同講座の井口教授から選任を受けることとなりました。伴って昨年6月から特養おぢやさくらの見学が始まり、病棟では主にリハビリテーションの見学を、患者さんの御了解をいただいた上で取り組んでおります。

また私も同講座の臨床教授の任命を受け、スタッフの力を借りながら円滑且つ有意義な学生実習となるよう指導に取り組んでおります。実習に訪れる学生さんたちは、既に大学病院で様々な疾患の患者さんを目にしているのですが、当院で初めて神経難病の患者さんに関わる学生も多く、患者さんたちの日々の様子を知って興味深く頷いたり、何気ない言葉に触れて驚いたりしていて、新たな発見をしながら感慨深く実習に取り組んでいる様子を多くのスタッフが目にしています。その新鮮かつ純粋な反応に、私自身も、忘れかけていた駆け出しの医療者であった頃を思い出し、改めて身の引き締まる思いがいたします。

患者さん方には、初対面の医学生に緊張を隠せない様子で対応していただき、とても申し訳なく思っておりますが、医療者の今後の担い手を育てていく為、また当院が神経難病の担い手として存在意義を高めていく為にも、これからもご協力いただきたく、宜しく願い申し上げます。

小千谷さくら病院の理念

自分なり家族や友人が利用したい病院づくり

習字の会



「文字が書きたい」の希望があり習字の会を行っています。「思った字が書けないなあ」「これはうまくいったな！」と感想は様々ですが、笑顔を交え楽しんでくださっています！

作品も増え、リハビリ室を華やかにしていただいています！

飾付・模様替え

1 病棟⇒

春を彩る「さくら」と「チューリップ」を色紙で患者様に作成して頂きました！
また小千谷市花に制定されている「水仙の花」も作成して頂きました☺

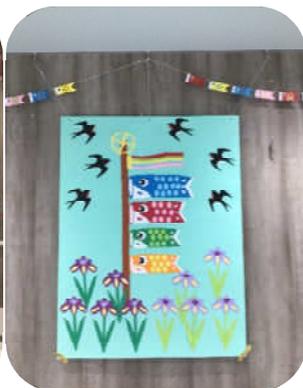


⇐ 2 病棟

5月の飾りといえば鯉のぼり！患者様と大小さまざまカラフルな鯉のぼりを手作りしました。表情もみんな違って2病棟を気持ちよさそうに泳いでいます🐡

3 病棟⇒

4月は桜、5月は鯉のぼりの飾りを作成しました。少しでも患者様に季節を感じていただけたらと思います。



献立紹介

常食

きざみ食

ミキサー食

2月14日(金) バレンタインメニュー♡ 米飯、ビーフシチュー、キャベツサラダ、チョコムース、牛乳



4月9日(水) 春の味覚お膳 米飯、若竹汁、刺身、菜種和え、桜の水羊羹、牛乳



さくら健康アドバイス

健診と検査

春は健康診断が多く行われる季節です。

健康診断の目的は？

- ① 病気の早期発見と早期治療
- ② 病気になる前に悪い生活習慣を見直し、健康づくりのきっかけを作る。
- ③ 健康な時の自分の状態を知る。

健康診断を受ける時の注意は？

- ① 事前に説明書をよく読んでおき、どんな検査を受けるのか前日の注意事項などを理解しておきましょう。
- ② 普段の生活と同じ状態で受ける。
急に食事を制限したり、アルコールを控えたりせず、いつもの状態でデータを取る、という気持ちで受けましょう。ただし、前日の注意事項を確認し、夜遅くの食事や飲酒は避けましょう。
- ③ リラックスして受ける。

緊張すると血圧や心電図に影響を与えます。不安や疑問はスタッフに確認してください。

結果を受け取ったら

再検査・精密検査は必ず受ける。

自己判断をせず、再検査・精密検査のお知らせがあったときは必ず検査を受けましょう。

臨床検査技師 樋口 さやか

参考：一般社団法人 日本衛生検査所協会 > 臨床検査とは > 検査のパンフレット > 健診と検査

職員紹介

①名前 ②所属職種 ③性格 ④趣味 ⑤ひとこと

さくら病院の新たな仲間です!

①小林 優花
②3病棟・看護師
③人見知りしやすい。緊張しやすい。
④映画鑑賞（特に洋画!）
⑤患者様に必要な看護を提供できるように頑張ります!

①霜垣 美由紀
②1病棟 看護師
③どちらかというとも真面目
④花いじり
⑤数年ぶりの現場でワクワクドキドキしています。よろしくお願いいたします。

①村山 朱理
②コスメディカル部 薬局 薬剤師
③好奇心旺盛
④テニスを少々
⑤十何年ぶりの病院勤務になります。日々電子化の波に揉まれながら業務を進めています。明るい職場で色々助けられています。どうか宜しくお願いいたします。

①太田 夏月
②3病棟 看護師
③人見知りで緊張しやすいです。
④旅行する事（特に温泉）、料理作りやお酒が好きです。
⑤初めての転職でとても緊張しています。早く現場に慣れることができるよう頑張りたいです。

①小野塚 幸恵
②3病棟・看護師
③思ったことが口に出てしまいます。つまり、よく言えば裏表がありませんし、悪く言えば余計な一言が出てしまいます（気をつけたいと思っています）。
④今はやれていませんが、家の中が落ち着いたらまた素敵な海に潜りに行きたいと思っています。
⑤病棟勤務は何年もやっていませんので、現在皆様に迷惑をかけっぱなしです。早くお役に立てるよう、頑張ります。

外来・入院相談案内

外来診察一覧表

診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
脳神経内科	午前8:30~11:30	山崎	出塚		出塚	眞野	
内科	午前8:30~11:30	非常勤	山田	非常勤			

※外来の診察に関しましては事前にお問い合わせください。問い合わせ・予約（代表0258-83-2680）

※診察日は月～金曜日（土日祝日、年末年始休診）

※但し、急患はこの限りではありません。

入院相談案内

医療のこと、介護のこと、福祉のこと何でも相談にのります。

医療ソーシャルワーカーまでご相談下さい。

問合せ（地域連携室直通0258-83-0618）受付時間は平日8:30~17:00です。

小千谷さくら病院は、新潟県難病医療ネットワークの魚沼医療圏の協力病院です。



・難病患者さんの長期療養先を探している
・家族の介護に疲れてしまった
・運だきりや認知症になって困っている...等々



小千谷さくら病院
脳神経難病センター

〒947-0041 新潟県小千谷市小栗田2732番地
電話(代表) 0258-83-2680
FAX 0258-83-4416
URL <http://www.sakurahp.com>
E-mail info-01@sakurahp.com